

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立関高等学校 事業実施報告書③

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	1. 2年生生徒全員
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (SGH講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	パラリンピックの随員として、競技に直接関わられた方からのお話と、2020年東京オリンピック・パラリンピックを目指す障がい者アスリートとの交流を通して、「障がい者の自立と支援」について、生徒一人ひとりが真剣に考えるきっかけとする。
5 取組内容	<p>平成29年12月5日(火) 6～7限</p> <p>○鳥居昭久氏（愛知医療学院短期大学副学長）によるセミナー 「障がい者スポーツを知ろう！ ～パラリンピック教育～」 講師略歴： ロンドン・北京・リオデジャネイロパラリンピック随員 （日本選手団トレーナー、ボート競技監督等）</p> <p>○車いすバスケットボール選手による実演及びセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎有川 美穂 選手（日本代表選手、Brilliant Cats 所属） ◎池戸 義隆 選手（岐阜シャイン所属） ◎秋田 啓 選手（日本代表選手、岐阜シャイン所属） ◎田中 秀弥 選手（日本代表選手、岐阜シャイン所属） ◎正橋 幸夫 選手（岐阜シャイン所属） ◎深見 大輔 選手（岐阜シャイン所属） <p>前半は、障がい者スポーツとパラリンピックをテーマに、鳥居昭久先生にご講演いただいた。ユーモアを交えた先生のお話ぶりに、多くの生徒が聴き入っていた。 「スポーツに限らず、障がいが</p>



ある人も楽しく暮らせる社会は、実は、私たちすべての人にとって便利で快適な社会です」という先生の言葉に、うなずく生徒たちの姿が印象的であった。

後半は、車いすバスケットボール選手のみなさんに登場していただき、機敏に車いすを乗りこなしながらのプレーに大歓声があがった。さらに、希望する生徒たちが次々と車いすに試乗し、鬼ごっこや車いすバスケットに挑戦した。



鳥居先生や選手のみなさんとのふれあいを通じ、SDGs（持続可能な開発目標）の中にも掲げられている「障がい者の自立と支援」について、生徒一人ひとりが真剣に考えるきっかけとなった。

6 主な成果

以下の感想にあるように、パラリンピックについて十分に知識のない生徒たちにとって多くを学ぶ機会となった。障がいを抱えながらもひたむきにボールを追う選手たちの姿に感動を感じる生徒も多く、健常者、障がい者、その他さまざまな立場の人々が、差別なく共生できる社会の構築の必要性を強く感じたようである。また、パラリンピックに対する意識も高めることができた。

生徒の感想

*見た目では分かりにくい障がいのある方もいる中で、全員が障がいについて理解し、すべての人々が住みやすい社会を作っていくべきだと思いました。車いすバスケット選手の方々はとても楽しそうで、みんなが公平にできる素敵なスポーツだと思いました。



*僕は、バスケットボールをしています。今回の3on3を見て、選手の方々も車いすのまま、転んでも自分の力で立ち上がる姿を見て、感激しました。自分がバスケットをしていて、すぐにあきらめてしまっている姿が、とても恥ずかしく思えました。

僕は、つらい時でも、自分の力で立ち上がり、努力し、生きていきたいです。また、パラリンピックについて興味をもてたので、2020年の東京パラリンピックも見たいと思いました。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

講演を聞くだけでなく、実際に車いすバスケットを経験することにより、パラスポーツを実感できるようにした。

パラリンピック出場を目指すアスリートの生の声と競技を見聞きすることで、パラリンピックに対する意識を高められるようにした。

8 主な課題等	事前準備から当日の運営に至るまで、大きな問題もなく実施することができた。
9 来年度以降の実施予定	「持続可能な開発」に寄与する実行力を身に付け、社会貢献活動を継続して推進できる人材の育成を掲げる本校としては、積極的にこのような機会を設けていきたい。